

．．．．．平成元年．．．．．

## 診療報酬点数表及び薬価基準の改正について

平成元年 3 月 18 日 保発第 15 号  
各都道府県知事あて  
厚生省保険局長通知

「健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（昭和 33 年 6 月厚生省告示第 177 号）」の一部改正及び「使用薬剤の購入価格（薬価基準）（昭和 63 年 3 月厚生省告示第 42 号）」の全面改正が、本日付け官報をもって、それぞれ厚生省告示第 34 号及び第 35 号として公布され、平成元年 4 月 1 日から適用されることとなった。

これらの改正の趣旨及び内容は次のとおりであるので、貴管下関係団体への周知徹底について格段の御配慮を願いたく通知する。

### 第 1 （略）

### 第 2 薬価基準の全面改正に関する事項

#### 1. 今回の改正の趣旨

消費税の円滑かつ適正な転嫁を図る観点から、薬価基準の改正を行うものであること。

#### 2. 薬価の算定

(1) 薬価算定方式については、中央社会保険医療協議会の昭和 57 年 9 月 18 日の答申及び昭和 62 年 5 月 25 日の建議に基づくとともに、消費税の適正な転嫁を図るための所要の調整を行ったこと。

(2) 個々の品目の算定については、昭和 63 年 4 月 1 日に実施された薬価基準改正における値下げ品目、値上げ品目及び据置き品目ごとに、1 ヶ月分程度の在庫を勘案した上で、以下のように行ったこと。なお、端数については、四捨五入としたこと。

①昭和 63 年 4 月の薬価改正における値下げ品目

2.1%～2.4%程度の引上げを行ったこと。

②同薬価改正における値上げ品目

2.7%程度の引上げを行ったこと。

③同薬価改正における据置き品目

2.4%～2.7%程度の引上げを行ったこと。

(3) 低薬価品である散剤等の一部の品目について、その使用状況を踏まえつつ、規格単位の見直しを行い、薬価基準上、品目名の前に◇印を付記することにより区別したこと。

なお、◇印を付した品目について薬剤料を請求するときは、今回の規格単位の変更にかわらず、従前どおり、実際に用いた量に応じて請求を行うものであることに留意すること。

(4) 上記のほか、平成元年 4 月 1 日から実施される酒税法の改正に伴い、日本薬局方エタノール等については、アルコール政府売り渡し価格の上昇分を考慮したこと。

#### 3. 収載品目等

(1) 「使用薬剤の購入価格（薬価基準）」（平成元年 3 月厚生省告示第 35 号）（以下「新薬価基準」という。）に収載した医薬品は、現行薬価基準に収載されている医薬品であること。

(2) 新薬価基準収載銘柄数は、次のとおりであること。

内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	計
9,042	2,958	1,605	10	13,713

(3) 別表は、第 1 部内用薬、第 2 部注射薬、第 3 部外用薬及び第 4 部歯科用薬剤に区分したこと。

(4) 収載に当たっては、原則として銘柄別薬価収載方式により、公定書（日本薬局方及び生物学的製剤基準）医薬品、生薬等については、統一収載方式によることとしたこと。